

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 31 日

事業所名 ぼんぼこはうすPROSSIMO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	67%	33%	療育、余暇、宿題等用途に合わせて部屋を分けている	その日のうちにどのように部屋や机を使用するかミーティングを行う
	2	職員の配置数は適切である	67%	33%	遠足等職員の皆様人数がいる時は、他事業所より応援してもらい人数を確保している	日頃から視野を広くし、グループ活動等を用いてまとまって見守りができる用心がけていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	施設の構造上難しい所もある(細心の注意を払っている)	手すりなど、設置出来る場所は設置したい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎朝ミーティングでPDCAサイクルを行っている	話し合えない時でも業務日誌等を利用し意見を出し合っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	頻繁にはありませんが、アンケート調査を実施している。保護者様の直接のお声にも迅速に対応している	モニタリングや送迎時等で保護者とコミュニケーションを積極的に取っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	33%	ホームページでの公開は目を通してないですが、事業所内の会報は目を通してしている	集計に目を通し、分析、改善点がないか確認する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	弊社の他事業所の外部評価に目を通したり、委員会での発表を参考にしてしている	書面でも確認し、他事業所職員と報告会等を行う
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	オンラインでの研修を受けたり、委員会での研修を受けている	研修で学んだことを現場で活かさせているかチェックを行う
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者様とのモニタリングや日々のお声からご希望のニーズに添えるように計画作成している	上長、他職員にも確認してもらい適切な支援内容を設定できているか確認
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	子供の日々の行動を記録する活動記録も参考に、専門職に相談している	児童情報に特性等の情報をさらに追加していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	いつもチームで相談し、上司の意見も取り入れ作成している	作成したプログラムが円滑に現場で取り入れられているか振り返りを行う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	ミーティングで話し合いをし意見交換している	見直しを行う期間をあらかじめ設定できるようにする
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	療育設定を細かくし、様々な取り組みを考えている	それぞれの一日の流れをより明確化したスケジュールを作成する

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童によっては集団活動のなかで個別活動も必要とされる場合の対応も視野に入れている	まず、児童の個人の課題にアプローチしゆくゆくは集団を視野に入れた支援も行う
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	前日の業務日誌に目を通し、役割分担等細かく決めている	支援終了後に決められた役割配置に不具合がなかったか確認する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終了後に改善が必要だと感じた時は職員間で共有し意見を出し合っている	細かい疑問でも書面に残し、他職員も意見を書き込み、照らし合わせる
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日業務日誌に記録をしているので、振り返りがしやすく改善などにつながる	記載内容の添削がすべての職員ができるように日々、訓練する
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	モニタリング終了後、保護者様のご希望に添った支援が出来ているか見直し出来る	店舗内のすべての職員で意見をだして見直しを行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインのすべての項目から外れない様留意している	随時、ガイドラインを確認。内容から外れないようにする

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	支援員も参加し、学んでいる	他機関から提供されている資料も広く目を通す
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	職員間で学校の情報を共有している	各学校の情報をまとめたマニュアルを作成する
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	保護者様を通しての連絡体制も行っている	看護師職員にも教示を仰ぎ知識を向上させる
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	困った時など相談もする	他事業所と連携できるような体制づくりを目指す
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	担当者が書類を作成し状況を提供する	情報を打ち込めるフォーマットを用意する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	オンラインでの研修を受けたり、委員会での研修を受けている	作業療法士、理学療法士ら専門職のチェック指導を仰ぐ
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	送迎時に支援学校や地域の学校でふれあうこともある	利用児童の過程の兄弟等も交えたイベントの開催を目指す
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	33%	67%	参加している	一般スタッフも可能な限り参加できるようにする
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時にこどもの様子伝えあっている	保護者がどのような情報を知りたいのか?把握してフォーカスした伝え方ができるようにする
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	33%	モニタリング時や送迎時にこちらの意見をいう事がある	サービス向上委員会等から指導を仰ぎ接遇面での強化を図る
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約の際に説明している	マニュアルを用意し、説明での大事なポイント、伝え方を意識する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	モニタリングや送迎時に行っている	相談を受けた職員は情報共有し、全職員が把握できるようにする
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	33%	67%	今後行っていけるよう、委員会などで話あっている	事業所内でもそのような機会を設けることができないか考えていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	直ぐに上司に連絡し、その都度改善できるように皆で共有対応している	苦情に繋がらないために、普段から情報共有し、よりよい支援に努める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、行事予定を作成し発信している	行事の詳細等、わかりやすく作成する
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	SNSには特に注意している	著作権等、すぐに確認ができるようリストにする
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	言語以外にも視覚ツールや絵カードを用いる等配慮している	より伝わりやすくするために改善等の話し合いを行い、個別での対応も行っていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	33%	67%	児童が作成した物品の販売会等で保護者様との交流はありますが、地域の住民との交流出来る様なイベントを話し合っています	避難訓練や交通安全等で、消防等へ積極的に依頼する

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	委員会が中心となって、全体へ発信している	より周知できるようにマニュアル保管場所を工夫する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	児童も一緒に年に2回避難訓練を行っている	全体反省等で、各事業所の訓練状況を知ること で次回の訓練に生かしている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	委員会が中心となって全体で勉強会を行う	職員間でも、気になる言動があれば 伝え合い改善に努める
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時に保護者様に説明している	了承を得ているが、児童に対しての配慮を 怠らないように気を付ける
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通しての指示書に基づく対応を共有している	アレルギーがある児童を把握し、昼食、おやつ時は注意する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ミーティングで話し合い、報告書内容を共有している	ヒヤリハットがあったときは迅速に話し合い、共有する